広報 やまと

5月号
2018 No.257

もくじ

02-04　特集１：平成 30 年度大和村の取り組み
05　　特集２：新規採用職員および新任課長の紹介
06-07　特集３：大河ドラマ「西郷どん」
　　奄美パブリックビューイング開催！
08-10　シマの話題
11-12　連載：ワンダー奄美（地域おこし協力隊通信）ほか
13 -14　お知らせ
15　　大和村長のフォトダイアリー、ほか
16　　お知らせ：すももフェスタ '18

特集1

平成30年度 大和村の取り組み

もともと 追い風 をうけてまれ!

平成30年第1回大和村議会定例会において、平成30年度大和村の施政方針演説が行われました。それをもとに主な施策を抜粋してお伝えします。

行財政改革の推進

平成28年度 市町村税徴収率1位

自主財源確保のため、村民に不平等のないよう徴収を行います。平成28年度は、市町村税徴収率が97．8％と県内1位となりました。引き続き、公平な徴収に努めて参りますので、村民の皆さまのご協力をお願いいたします。

市町村税徴収率
県内1位
97．8％

ふるさと納税による財源確保

昨年の6月よりインターネットで大和村へのふるさと納税ができるようになりました。返礼品を充実し、平成29年度は、過去最高の納税件数を達成しました。

ふるさと納税件数

平成29年度：375件

7.2倍!

平成28年度：52件

農林水産業の振興

「企画観光課」を新設

増大が見込まれる企画・観光業務に対して、迅速かつ的確に業務を遂行できるように、これまで「総務企画課」と「産業振興課」でそれぞれ行っていた「企画」と「観光」の業務をひとつの課で効率的に行うために「企画観の光課」を新設しました。

「道の駅」構想の推進

村内の農林水産物、加工品等の販売拠点、観光拠点となる「道の駅」構想の実現に向けて積極的に取り組んで参ります。

水産加工施設を整備予定

あまみ漁協大和支所（津名久）の敷地内に水産加工施設を整備を予定しています。体験型観光と連動することにより、調理体験などを通して、魚食の普及や新鮮な地場産魚介類の地産地消およびPRに努めて参ります。

合同会社ひらとみの取り組み

毛陣地区の実証・体験農園ついては、臨時職員を雇用し、農家の研修の場や、学校・社会教育と連携した収穫体験の実施に取り組んでいます。福元地区においては観光農園として整備を進めながら、福元イモの生産拡大に取り組み、地域営農組織と連携し、福元ダイコンのブランド化、高付加価値化を図るため、品種の統一に取り組みます。（関連記事10ページ）

観光振興と交流人口の拡大

まだまだ続く追い風

平成30年度も、奄美群島は国立公園指定後の注目度の高さ、関東・関西からの格安航空路線の就航、また、ＮＨＫ大河ドラマ「西郷どん」の放送開始など、奄美の観光にとって追い風が続く年であります。観光客の増加に対応できるよう受け入れ体制や施設の整備を、新設した「企画観光課」で行うことで効率的な業務の遂行に努め、観光振興による交流人口の拡大に全力で取り組みます。

また、ＮＰＯ法人による「大和村集落まるごと体験事業」への支援や、特例通訳案内士を活用した訪日外国人の受け入れ体制づくりにも取り組んで参ります。

定住促進対策の拡充

村制施行110周年を盛り上げる

平成30年度は、大和村制施行110周年の年に当たることから、記念式典・祝賀会開催に向けて取り組みます。また、招待者については、関東、関西、中部、鹿児島等の全国各地の郷友会に広く呼びかけを行い、110周年を契機として村出身者との交流が深まり、Ｕターン者をはじめ、定住促進につながるよう取り組んで参ります。

住宅改修事業助成を充実

これまでの「空き家改修助成」を、より利用しやすくなるよう改め、新たに「住宅改修事業助成金制度」を制定しました。これは、村内にある家屋に対する改修にかかる費用の半分を助成する制度で、10万円以上の工事から適用され、上限は50万円です。適用外の工事もありますので、詳しくは、企画観光課までお問い合わせください。

□問合せ先　企画観光課
電話０９９７（５７）２１１１

子育て支援の推進

「民泊」起業支援の検討

平成30年度は、個人事業者が行う起業についても、どのような支援ができるのかについて庁内で検討を進めます。特に、今後の観光客増加による村内宿泊施設の不足を早期に解消するための手段として、民泊事業を起業する取り組みについて支援を行うために検討を進めて参ります。

子育て支援の強化

平成29年度から準要保護世帯と一般世帯への就学援助費を増額いたしましたが、平成30年度からは、準要保護世帯の学校給食費の全額助成を行い、更なる子育て支援の強化に努めます。

さらに、安心して大和村で子育てができるよう、引き続き延長保育や土曜保育を実施するほか、放課後児童クラブへの助成を行うとともに、村単独の出産祝い金や育児助成金を支給します。

インターネット学習塾の充実

学校教育の補完的役割を目的として、学ぶ機会を増やし、子ども達の可能性を更に伸ばすことと、保護者の負担軽減を図るため、離島にいても都市部と同等の教育を受けられるように、平成30年度についても、インターネットを活用した学習塾の更なる充実に努めて参ります。

生活環境の整備

農業集落排水の整備

住環境及び自然環境保全の観点から、生活排水及びし尿処理対策として、農業集落排水事業により衛生的で快適な生活環境整備を進めます。

光ケーブル高速通信網の整備

光ケーブル高速通信網の整備については、近隣市町村と共同で平成29年度から2カ年間の計画で環境整備を進めており、平成29年度においては東部地区、国直から大金久までが整備されました。引き続き、平成30年度は西部地区、戸円から今里までと福元地区の整備を行い、村内全地区の光ケーブル高速通信網の整備を行います。

情報発信の強化

あまみエフエムについては、多くの村民が利用する情報源として大変有効な手段であるため、広報やまとラジオ便の活用など、身近な生活情報や災害時の防災情報等、村の情報を積極的に提供し、村民の利便を図ります。

また、村のホームページも平成29年度に、「見やすさ」、「使いやすさ」、「探しやすさ」を追求し、新たな形でリニューアルいたしました。今後は、よりリアルタイムで、より魅力のある、効果的な情報の発信に努めます。

「広報やまとラジオ便
リッスントゥミーひらとみ」

月曜から土曜の午前９時からと午後
２時半から 77.7MHz で放送中です！

大和村の新しいホームページ

右の QR コードを読み取ってアクセスできます。

安全・安心な大和村づくり

福祉の向上

診療所をはじめ関係機関と連携して、各種検診受診の向上を図るとともに、健康教育及び訪問指導の強化など健康増進をサポートできる環境づくりに努めます。また、集落介護予防教室やタラソ利用助成など健康増進活動を実施し、村民の介護予防意識の向上に努めます。

防災力の強化

本村の自主防災組織が、緊急時に効率的に機能できるよう組織の育成・強化のために、自主防災組織が主体となった防災訓練の実施について、大和消防分駐所と連携して取り組みます。

さらに、災害時の避難施設である集落公民館等については、避難所としての防災機能の向上を図っていますが、今後は災害備蓄品等の配備や、高台避難所について年次的に整備できるよう検討して参ります。

特集２ 新規採用職員および新任課長の紹介

平成 30 年４月１日付けにて４名の職員を採用しました。まだまだ未熟な職員達ですが行政のプロフェッショナルを目指して奮闘中です。お見かけの際には村民の皆様からもご指導下さいますようお願いいたします。

また本年度は、組織編成に伴い、「総務課」と「企画観光課」に２名の新任課長が着任しています。村民の皆様により良いサービスを提供するため、職員ひとりひとりの持てる力を存分に発揮し、一丸となって日々の業務に取り組んでまいります。

林務水産担当です。
海と山を走り回ります！

龍郷町出身（26 歳）大和浜在住
産業振興課　林務水産担当
村田 丈尚（たけひさ）

村民に愛される「広報やまと」を作る！

熊本市出身（35 歳）津名久在住
企画観光課　広報担当
中山 友美（ともみ）

つまずいたって
いいじゃないか
にんげんだもの

大棚出身（22 歳）大棚在住
総務課　消防士
藤村 倖生（こうせい）

奄美市出身（27 歳）思勝在住
保健福祉課　保育士
満永 聖奈（せいな）

明るく、温かい保育を
心がけて頑張ります

小さくとも
光り輝く大和村

総務課長
政村 勇二

私たちも
頑張ります！

企画観光課長
森永 学

大河ドラマ「西郷どん」奄美パブリックビューイング開催！

特集 3

5 月 20 日（日）、奄美文化センターにて大河ドラマ「西郷どん」奄美パブリックビューイング（ＮＨＫ鹿児島放送局、観光かごしま大キャンペーン推進協議会主催）が開催されました。ゲストに愛加那を演じる二階堂ふみさん、主題歌を歌う里アンナさんらを迎え、1,200 人の会場の皆さんと第 19 回の放送を鑑賞しました。

イベント終了後に報道陣の取材に応じた二階堂ふみさんにロケ地となった宮古崎について撮影当時の感想をお聞きすると、「宮古崎は自然のパワーがみなぎっている場所だと感じた、力が湧いてくるようだった」とコメントされました。

大河ドラマ「西郷どん」は、大和村のさまざまな場所でも撮影が行われました。タイトルバックとドラマ本編が撮影された宮古崎をはじめ、大和村の「西郷どんスポット」をご紹介します！

西郷どんスポット1　宮古崎

今年に入り、たくさんの観光客でにぎわっています。遊歩道に設置した登山者カウンタによると、その数延べ 2848 人！（4 月 20 日現在）

大和村の西郷どんスポット！

西郷どんスポット２　群倉（ぼれぐら）

第 18 回放送の「西郷どん紀行」で、当時の島の暮らしを説明するなかで大和浜の群倉が紹介されました。高倉は、釘を使わない建築様式の穀物庫で、火災などから食糧を守るために集落のはずれに集めて建てられたものを群倉と呼びます。奄美大島では唯一、当時と同じ姿を保っており、県の文化財に指定されています。

西郷どんスポット3　開饒神社（ひらとみ）

第 19 回放送の「西郷どん紀行」で紹介された開饒神社。サトウキビ栽培を成功させた大和浜集落出身の直 川智翁をまつった神社で、毎年、製糖関係者や黒糖焼酎の蔵元などが、豊作祈願に参拝に訪れます。

西郷さんが奄美大島で過ごした時代は、島民はサトウキビ栽培と製糖に追われ苦しい日々を過ごしていました。黒糖が明治維新を成功させた財政基盤の一端を担っていたのです。

西郷どんスポット4　磯平パーク

サトウキビ栽培の祖・直 川智翁が中国から持ち帰ったサトウキビの苗を植えたとされる場所に磯平パークはあり、「直 川智翁甘蔗創苗之地」という石碑が建立されています。眼下には岩肌にぶつかり砕ける白波と、ソテツの群生が見られます。第 19 回放送の「西郷どん紀行」で紹介されました。

大和村イチ推し フォトスポット！

＃宮古崎＃ササント＃大和村＃徒歩 20 分＃奄美＃国立公園＃自然＃パワースポット＃癒し＃黄金のじゅうたん＃海きれい＃気分は西郷さん

村内初のゲストハウス オープン

新たな観光拠点が続々と

村内に続々と新しい施設がオープンしています。まずは、村内初となるゲストハウス「奄美大和ゲストハウスそのうち」。オーナーは地域おこし協力隊の小泉理恵さん。津名久集落の空き家となっていた家屋を購入し、自らの手でリフォームを行い、この春完成を迎えました。ゲストハウスは、低料金で宿泊でき、トイレやシャワールーム、キッチンは共同で使い、ほかの宿泊者との交流ができるのが特徴。小泉さんのゲストハウスは、全部で 20 名程度が泊まれる施設で、カプセルホテルのようなベッドが備え付けられています。10 人が泊まれる男女兼用の部屋は、宿泊料が１８００円。女性専用の部屋、家族やグループ旅行におすすめの個室も用意されています。

そして、新しく食事ができる施設もオープンしています。国直海岸のウミガメ公園近くの「Bee-Lunch（ビーランチ）」は、グリーンカレーやガパオライスといったエスニック料理などが楽しめるお店で、移住者のご夫婦がオーナー。津名久集落にできた焼き鳥屋「TSUNAGU（つなぐ）」は、県道沿いにありひときわ南国感のあふれる外観が目を引きます。店舗裏のオープンスペースは地元の人々が集まりにぎやか。地元密着型のお店です。

今後も観光客の増加が見込まれる中、村内の宿泊所や飲食店の不足が課題となっていますが、新しい施設が増え、集落に活気が生まれているようです。

オーナーの小泉理恵さん

【問合せ先】奄美大和ゲストハウス
電話 050-5327-7550
HP https://kumahaku846.wixsite.com/sonouchi

キッチンや共同スペースも自由に使うことができる

波の音を聞きながらの食事はいかが？

【問合せ先】Bee-Lunch
電話：090-7720-1308
営業時間：11：00 ～ 21：00
定休日：第 2・第 4 火曜日

一本 80 円から 150 円

【問合せ先】TSUNAGU
電話：080-2473-1901
営業時間：17：30 頃～ 22：00
定休日：不定休

ご入学おめでとうございます

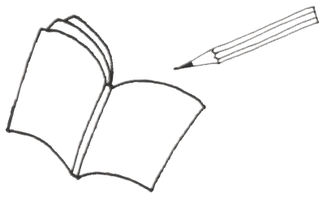
新１年生９名が入学

４月６日、大和小、大棚小、名音小の３校において入学式があり、９名の新入生が入学しました。入学式では、新１年生の名前が呼ばれると「ハイ！」と大きな声で返事をして式場を和ませていました。

元気に遊びたくさん学ぶ「大和っ子」を地域全体で見守りましょう。登下校の際は、見かけたら声かけをお願いします。

大和小学校
郁島 信介校長・全校児童 27 名

平岡　爽琉（そうる）さん
福山　結斗（ゆうと）さん
直島　彩音伽（しゅりか）さん
永田　愛奈（あいな）さん



大棚小学校
赤井 清人校長・全校児童 12 名
杉島　希空（のあ）さん

名音小学校
福 和人校長・全校児童 11 名

勝　幸盟（こうめい）さん
久保　佑騎（ゆうき）さん
重村　琉音（るおん）さん
福原　優衣（ゆうい）さん

写真提供：各小学校

地域おこし協力隊　小海もも子の

ワンダー奄美

Wonder Amami

第12回 原材料を気にしていますか？

やまとやの黒糖ビスケット

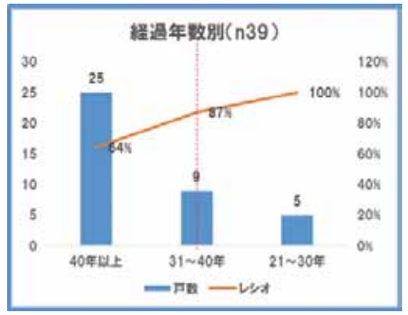
名称	黒糖ビスケット
原材料名	岐阜県産小麦粉、全粒粉、奄美産黒糖、奄美産海塩、国産菜種油、有機豆乳
保存方法	高温多湿を避け、常温保存
賞味期限	2018年　5月　17日
製造者	やまとや 代表 小海もも子 電話 大和まほろば館 0997-57-2980 鹿児島県大島郡大和村大棚49 大和まほろば館内

商品裏に貼っているラベルの一例。
ビスケットに必要な材料はこれだけ。

「やまとや」というお菓子製作グループを発足し、まほろば館で販売を始めてから約1年半が経ちました。そしてなんと、5月から月2回ほど、学童保育でやまとやのお菓子を利用していただくことになりました。やまとやは、村内の子どもたちに健康的なお菓子を食べて欲しいということも発足の理由のひとつなので、今回の依頼はとても嬉しいです。学童保育の子どもたちのためのお菓子は、白砂糖不使用、国産の小麦粉、自然塩を使用するなどのこだわりを持って製作しています。

さて、皆さんはお菓子はもちろん食品の原材料を見てお買い物をしているでしょうか。私はやまとやを始めてから特にチェックするようになりました。多くの食品には、手作りだと使用する必要のない添加物が、長期保存、コスト削減等のために使われています。日本で使われる添加物のなかには、有害であるとして海外ではすでに禁止されているものもあります。体は食べるものからできています。「お店で売っているから大丈夫」ではなく、何が入っているか確認し、子どもにも大人にもできるだけ害のないものを選んでみませんか？

地域おこし協力隊通信　第6回



ゆんきゃぶり場が2月2日にオープンしました。地域活性化の拠点作りを目指しております。全国から色んな方々が立ち寄ってくれています。（キャラの濃い方ばかりですが・・・）

地域おこし協力隊
福永が取り組んでいる業務を
お伝えします！

4月より総務課にて「空き家調査」をさせて頂いております。調査は、村内外に関わらず、定住人口の維持を目的としています。5月23日現在では空き家が98戸、廃屋が93戸です。

現在、空き家の約4割（39戸）を調査中で貸し出し可能物件の絞り込み作業をしています。約9割（34件）が築30年以上が経過していますが、リフォームすることにより息を吹き返せる物件もありそうです。

家は生き物です。住む方がいないと劣化が加速し、あっという間に廃屋になってしまいます。今後、人口減少は更に加速、そして空き家もますます増加します。また、廃屋には様々な危険要素もあり、大きな社会問題となっています。

家がなくなると、「気軽にシマに戻れない」、「いつか戻るので貸せない」との声がある一方で、すぐに大和村に住みたいが家がないとの声もあり、住宅確保が急務となっています。良い物件を増やすには、空き家期間を短くする事が重要となります。家主様のご協力が不可欠ですので、よろしくお願いしたします。

GWにクジラ漂着　見物客でにぎわう

5月4日の早朝、津名久の海岸に体長約5メートルのクジラの死骸が漂着しているのが発見されました。前日に湾内をクジラが泳いでいるのが目撃されており、何らかの理由で迷い込んでしまい死んでしまったようです。専門家によるとコビレゴンドウという奄美沿岸では見かけない小型のクジラ（雄）とのこと。船で引っ張り漁協前に移動させ、骨標本を作るために解剖が行われました。珍しい光景に、ゴールデンウィーク中とあって子どもをはじめ、多くの住民が見学に訪れていました。解剖後は、砂に埋められ、およそ1年後に掘り起こされ、標本が作られる予定です。

大きいのみっけ！ じゃがいも収穫体験

5月9日、毛陣地区の実証農園にてジャガイモ収穫体験が行われました。合同会社ひらとみが主催する農業体験イベントで、村内の保育所生38名が無農薬で育てられたジャガイモを収穫しました。

最初はこわごわと土を触っていた子ども達も、ジャガイモが姿を現すと歓声をあげて我先にと掘っていました。保護者からは「こういう機会を作ってくれてありがたい」との声が聞かれました。農園の管理をするひらとみ職員の久保和也さん（35歳・名音）は、「無農薬無肥料で果物や野菜を栽培している。今後は大人も子どもも楽しめる体験農園にしていきたい」と抱負を語っていました。

今年も大棚Aチーム優勝

第61回大和村ナイターソフトボール春季大会が4月16日から26日にかけて大和中学校グラウンドで開催されました。A級は、大棚Aチームと津名久チームの対戦。大棚Aチームが初回に9点を奪い試合を優位に進め、13対1で11年連続優勝を達成しました。津名久チームは、昨年からA級に昇格し、今年は試合には敗れたものの決勝まで上り詰めました。B級は、攻防の末、名音チームが思勝チームに5対4で勝利。

A級の最優秀選手は、攻守、打撃に活躍した伊集院 将さん（大棚Aチーム）が、B級は、攻守で勝利に貢献した重村 大剛さん（名音チーム）がそれぞれ選出されました。

春の遠足　高倉へ

5月2日、大棚小学校の春の遠足が行われ、1年生から4年生の児童5名が片道およそ3．8キロメートルを歩き大和浜の群倉を訪れました。村教育委員会の職員による説明を受け、釘を使わずに建てられ、ねずみが登れない構造であることを知ると、「昔の人は頭がいいねぇ」と、感銘を受けた様子がみられました。また、はしごを上って倉を覗き込むと、「秘密基地みたい」「クワガタの匂いがする」などの子どもならではの感想が聞かれました。

天気に恵まれたこの日、道中にはスモモの甘い香りが漂い、郷土の自然や文化を感じる一日になったことでしょう。

どぅくさむんがたり

大和診療所だより Vol. 18

髄膜炎菌感染症のワクチン助成が始まりました

文／小川 信

髄膜炎菌感染症（以下、同感染症）は、髄膜炎菌が原因で起こる感染症です。頻度は少ないですが、発症すると症状は急激に進行し、高い致命率（19%）が報告されています。宮崎県の高校運動部寮内で同感染症が集団発生し 1 名が死亡（2011 年）しました。死亡した学生は早朝に食堂で倒れていたところを発見され、病院に運ばれ治療を受けましたが、残念ながら夕方に亡くなりました。髄膜炎菌は日本では 100 人に 1 人くらいが鼻の奥にもっています。鼻の奥にいるだけでは無症状ですが、たまたま血管に入ると突然の発熱、嘔吐、頭痛、意識障害や髄膜炎を起こす病原性の強い細菌です。誰でもかかる可能性がありますが、乳幼児と 10 歳代後半に感染のピークがあります。人と人の接触が密な場所で発生しやすく、食器やコップなどの共有などがリスクとして挙げられます。

同感染症は、ワクチンで防げる病気です。学生寮や合宿所での共同生活は感染リスクが高まるので、ワクチンを接種することが薦められています。重い副反応はみられていません。米国ではすべての子どもが接種しますが、日本では任意接種であったため、まだ普及していません。大和村では全国に先駆けて、髄膜炎菌感染症の予防ワクチン接種の補助が始まりました。詳しくは、保健福祉課または診療所までお問い合わせください。

文献 1) 西順一郎：南日本新聞，2016 年 12 月 27 日
2) 尾内一信 : サノフィ株式会社資料 , 2017
3) 国立感染症研究所 病原微生物検出情報 (IASR) 32(10):298-299, 2011
4) 揚松龍治 , 御供田陸代 , 穂積和佳 : 集団生活において発生した侵襲性髄膜炎菌感染症事例 , IASR 39(1): 5-6, 2018

世界自然遺産をめざす

ワキャシマのいきむんマンディ 第７回

世界自然遺産登録の延期について思うこと

文／奄美自然体験活動推進協議会　吉田明美

「登録延期になったねぇ。地元住民は興味がないし、そういうところが原因なのかね」と、同じ事を数名の地域住民に言われました。

今回の世界自然遺産登録延期の勧告は、私たち住民にとってマイナスな出来事なのでしょうか。冒頭に書いた島の人たちの素直な意見を聞いて、あくまで個人的な意見としてですが、私はプラスだったのではないかと思います。

住民の方は、「興味がない」ということが「延期に繋がった」と考えたのでしょう。実際は、保護管理体制が云々とかそういう事がメインだとは思いますが、住民が興味を持たなかったことで、なかなか進まない事柄もあったように思います。

新緑の森

「延期」というのが、気持ち的には落胆しマイナスのイメージがあるのは間違いありませんが、かといってイコールそれが悪い出来事ということではありません。興味を持たなかった人たちへの一つのメッセージになったと思います。そして、世界遺産とは地球規模の遺産です。簡単になれるものではないと戒めになったと思います。また、現段階で何もかもが世界基準で準備を進め、整っているわけではありません。世界基準の一歩先の準備をしていき、これぞ世界自然遺産だと言われる島になるようにみんなで協力して、私たち一人ひとりが出来る事を探して進めていけたら素晴らしいと思います。

はり・きゅう施術料助成が始まりました

高齢者の健康保持を増進するため、75歳以上の方が、はり・きゅうの施術を受けた際、施術料の一部を助成します。

□助成対象者
75歳以上の方
（65歳以上で一定の障がいをお持ちの後期高齢者医療制度加入者も可）

□対象となる施術
村が指定する、はり・きゅう師が行う保険診療外のはり・きゅう施術

□指定施術所
中山鍼灸整骨院（津名久）

□助成内容
施術1回につき６００円
1ヶ月に10回まで、1年間に60回まで

□助成の方法
①役場で、はり・きゅう施術受診券交付申請をする
②『はり・きゅう施術受診券』の交付を受ける
③施術所で施術を受ける
④施術者に受診券を1枚渡し、差額を支払う

□申請・お問い合わせ
保健福祉課　０９９７（５７）２２１８（直通）

はり・きゅう施術料を
一部助成します！
保健福祉課まで
お問合せください。

土砂災害防止月間について

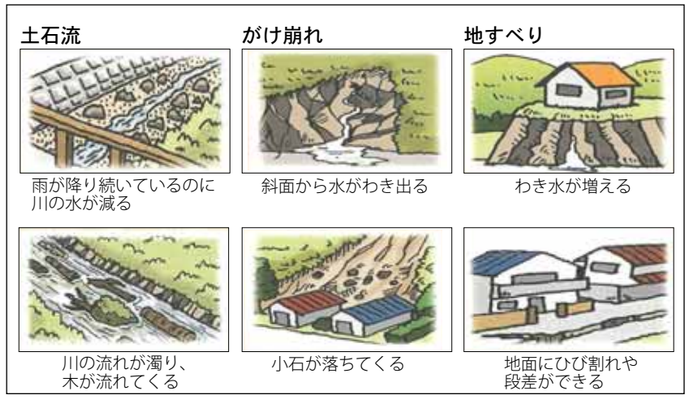
６月は、土砂災害防止月間です。梅雨に入り、集中豪雨などによる土砂災害が心配されます。大雨や台風、地震などによる土石流や崖崩れ等の土砂災害が発生すると、多くの尊い人命が失われます、土砂災害から生命を守るため、日頃から次の点に注意しましょう。

①雨の降り方に注意しましょう
②土砂災害の前ぶれを知っておきましょう
③危険箇所を知っておきましょう
④避難場所を決めておきましょう
⑤逃げ方を知っておきましょう

被害を最小限に抑えるために、これらの点に注意して早めの避難を心がけましょう。

身を守るのは「早めの避難」

土砂災害の前兆現象



台風海難防止強調運動

奄美海上保安部・古仁屋海上保安署では、本格的な台風時期を迎えるにあたり、「台風海難防止強調運動」を実施します。

【スローガン】「来るぞ台風！備えはよいか！」

【実施期間】６月21日（木）～同30日（土）

台風による海難の未然防止を図るため、台風情報の早期把握、船舶所有者にあっては

①大型船は安全な海域へ早期避難
②小型船舶は陸揚げ・固縛
③港内避泊の場合は係留強化――これらを心掛け、早めの備えをお願いします。

作業中もライフジャケットの着用をお願いします。

海上保安庁緊急情報メール配信サービスも活用願います。

【問い合わせ先】
奄美海上保安部交通課
電話０９９７（５３）５５６９

緊急情報メール配信サービス

気象情報や緊急情報を配信します
登録はこちらから↓

表紙写真の紹介

合同会社ひらとみによる農業体験での一コマ。大きなミミズを見つけて得意気な南優聖さん（5歳）。土や農作物、生き物に触れ、親しめる環境があるって素晴らしいですね。これからも今回のようなイベントが開催されることを願っています。

こせきの窓

人口　1,497 人（△ 19）
男　　733 人（ △ 5）
女　　764 人（△ 14）
世 帯　868 世 帯（14）

4 月 27 日現在
（前年同月比）

伊集院村長による連載のコーナーです。
写真と共に村長の活動を
報告いたします。

NEW

大和村長のフォトダイアリー

平成 30 年 4 月 29 日

4 月 29 日、関西大和会の再結成総会が尼崎市社会福祉会館で行われました。昨年、関西奄美会 100 周年記念式典の際に、会の存続が危惧されていました大和会の組織を地元からも支援していこうと準備がなされたところです。この度、新たに女性部も組織され、関西大和会再結成の幕開けとなりました。

これまでも関西において、会の存続に多くの先輩諸君の皆様方がご尽力されましたことを称え、関西大和会の更なる発展を祈念いたします。

大和村長　伊集院 幼

ふるさと納税 ありがとうございます

貞野　広和 様（埼玉県）
松島　敬尚 様（大阪市）
金　雷 様（名古屋市）
小林　卓司 様（宮城県）
岡崎　昇 様（島根県）

ご結婚おめでとうございます

重田一平さん（戸円）
坂元美里さん（龍郷町）

お誕生おめでとうございます

藤村　舟（しゅう）さん（父 雄樹 母 真実・大棚）
澤山　樹里（じゅり）さん（父 英樹 母 里華・大金久）
川下　花（はな）さん（父 光 母 亜里寿・大棚）
重信　はるかさん（父 日隆 母 優香・大和浜）

お悔やみ申し上げます

平岡　アサ江 様（75歳・大和浜）
元井　秀隆 様（86歳・今里）
大石　藤芳 様（87歳・大金久）
戸内　セツ 様（93歳・戸円）
安田　修 様（73歳・今里）
森　フミ 様（103歳・大和浜）
時元　敬良 様（73歳・戸円）

香典返し（社会福祉協議会へ）

平岡 義豊 様（故 平岡アサエ 様）
大石 幸蔵 様（故 大石藤芳 様）
森 満彦 様（故 森フミ 様）

平成３０年度自衛官募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	待遇
一般曹候補生	18歳以上 27未満の者	7月1日(日) ～ 9月7日(金)	１次試験：　９月２２日（土）午前 ２次試験：１０月１３日（土） 試験会場：大島支庁	特別職国家公務員 初任給 一般曹候補生:167,700円 自衛官候補生:131,800円 任用一時金　:176,000円 賞与：期末・勤勉手当 （ボーナス）年２回 昇給：年１回 ※特例退職手当 陸上自衛隊 １任期約　５６万円（２年後） ２任期約１４３万円（４年後） 海上・航空自衛隊 １任期約　９３万円（３年後） ２任期約１４８万円（５年後） ※乗組員手当（護衛艦勤務） １等海士１８７，０００円↓ ２４８，７１０円
自衛官候補生			筆記試験：９月２２日（土）午後 口述試験：９月２１日（金） 試験会場：大島支庁	
航空学生	海 18歳以上 23未満の者 空 18歳以上 21未満の者		１次試験：９月１７日（月） 試験会場：大島支庁 ２次試験：１０月１５日(月)～１０月２１日(日) ３次試験：海１１月２２日(木)～１２月１９(木) 空１１月１７日(土)～１２月２０(木) ※ いずれか１日を指定されます。	

お問い合わせは、下記事務所まで
〒８９４－００２３
奄美市名瀬永田町１７－３　大島支庁内　別館３階
TEL　０９９７－５３－９１０３
自衛隊鹿児島地方協力本部　奄美大島駐在員事務所

※その他、詳細については事務所までご連絡下さい。

←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
（http://www.vill.yamato.lg.jp）

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2111　FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
http://www.vill.yamato.lg.jp